

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	くわじま 桑島 やすき 穩
(研究テーマ名) 1950 年代のガーナ地域社会における中等学校・大学の発展とチーフ制度	
(研究活動実績) ①研究会・学会での報告 ・「1940-50 年代の植民地アシャンティ（現ガーナ中部）におけるチーフと学校教育：中等学校 プレンペ・カレッジの設置（1949 年）をめぐって」、日本西洋史学会第 63 回大会、於京都大学、2013 年 5 月【1】 ・「英領ゴールド・コーストおよびアシャンティからの目線」（澤田望氏報告「初期ナイジェリア 新聞(1880-1920)における記念・顕彰行為の記録 カリスマから小さき者へ」に対するコメント報告）、イギリス帝国史研究会、於大阪大学中之島センター、2013 年 7 月【2】 1940-50 年代のイギリス領植民地期のガーナ・アシャンティ州における、首長制社会の変化と同地における教育の振興（中等・高等教育志向）との連関について報告した【1】。また、19 世紀末イギリス領ナイジェリア現地のエリートについて論じた澤田報告に対して、比較の観点からアシャンティ州のエリートに関する事例を提示し、ディスカッションを通して 19-20 世紀イギリス領アフリカ植民地の理解を深めた【2】。 ②修士論文（英語）の修正と再提出 イギリス・バーミンガム大学に提出していた修士論文（題目： <i>Prempeh College and socio-economic development in late colonial Asante</i> ）の査読結果に基づき、内容や英語表現について加筆修正した後、論文を再提出した。上記①の報告内容を反映させた。 ③ガーナ・アクラ国立公文書館、ガーナ大学での資料調査（2014 年 2 月 26 日～3 月 7 日） ドクター研究員プロジェクトの一環として、ガーナの首都アクラの国立公文書館にて、未刊行の政府公文書（当該時期アシャンティ州地域の年次行政報告書や新聞資料など）を閲覧・撮影した。ガーナ大学では、日本やイギリスでは入手困難な二次文献を閲覧した。	